

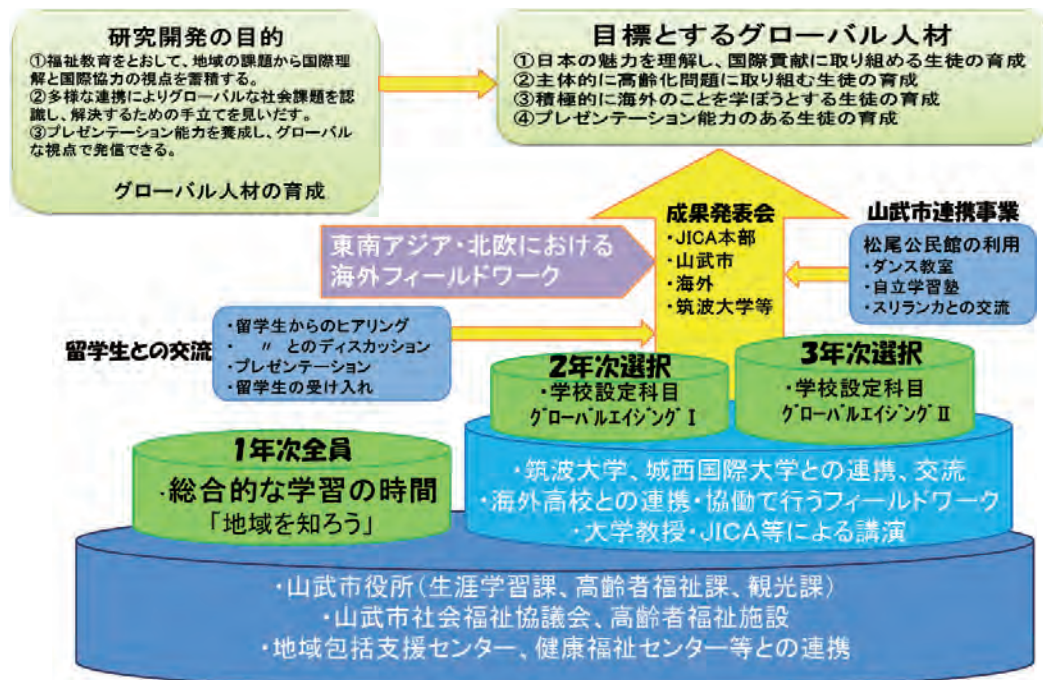
千葉県立松尾高等学校

地域から考える グローバルエイジング研究

【構想の概要】

日本の高齢化問題やその対策としての社会保障や福祉分野での制度、個人の健康管理などについての調査・研究を行う。地域と日本さらには、北欧、東南アジアを比較しながら、グローバルエイジング（地球規模の高齢化）を考え、諸課題の解決に向けて活躍できるグローバル人材を育成する。

【構想図（申請時）概略】



H29入学生用		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	共通	国語総合	地理A	数学I	数学A	生物基礎	体育	保健	芸術I	コミュニケーション英語I	英語表現I	家庭総合	社会と情報	総学	LHR																	
2年	文系	現代文B	古典B	世界史B	数学II	化学基礎	地学基礎	体育	保健	*選択1	コミュニケーション英語II	英語表現II	家庭総合	総学	LHR																	
	理系	現代文B	世界史B	数学II	数学B	物理基礎	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	家庭総合	総学	LHR																		
	ビジネスコース	現代文B	*選択2	世界史B	数学II	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	家庭総合	簿記	情報処理	総学	LHR																		
	生活コース	現代文B	*選択2	世界史B	数学II	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	家庭総合	情報処理	ファッション造形基礎/フードデザイン	総学	LHR																		
福祉コース	現代文B	*選択2	世界史B	数学II	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	家庭総合	社会福祉基礎	介護福祉基礎	総学	LHR																			
3年	文系	現代文B	古典B	*選択3	日本史B	現代社会	数学II	化学/生物	体育	コミュニケーション英語III	英語表現II	家庭総合	総学	LHR																		
	理系	現代文B	日本史A	現代社会	数学III	化学	物理/生物	体育	コミュニケーション英語III	英語表現II	家庭総合	総学	LHR																			
	ビジネスコース	現代文B	*選択4	日本史A	現代社会	数学II	地学基礎	体育	コミュニケーション英語III	課題研究	簿記	ビジネス情報	総学	LHR																		
	生活コース	現代文B	*選択4	日本史A	現代社会	数学II	地学基礎	体育	コミュニケーション英語III	子どもの発達と保育	ファッション造形基礎/フードデザイン or 服飾文化・栄養	総学	LHR																			
	福祉コース	現代文B	*選択4	日本史A	現代社会	数学II	地学基礎	体育	コミュニケーション英語III	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護総合演習	総学	LHR																		

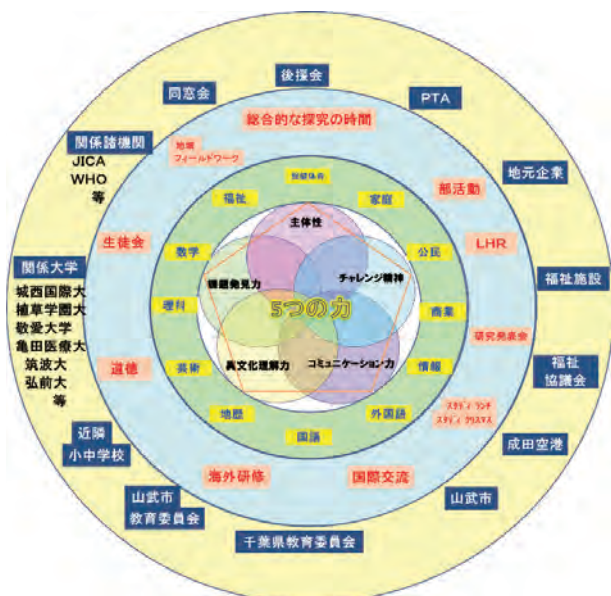
* 選択1:芸術II、GA(グローバルエイジング)Iから一つ、 * 選択2:基礎国語、基礎数学、芸術II、GA Iから一つ、
* 選択3:実用国語、実用数学、芸術III、GA IIから一つ、 * 選択4:実用国語、実用数学、芸術III、服飾手芸、GA IIから一つ

【教育課程表】

生徒に身に付けさせたい5つの資質・能力

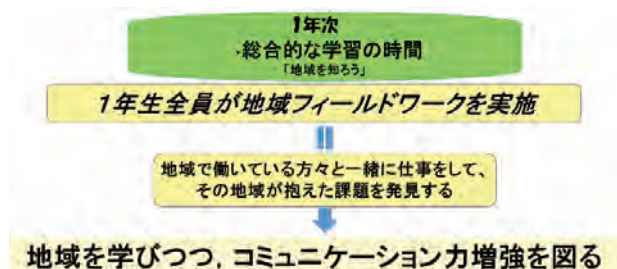
本校では、様々な取組を通じて「生徒にどのような資質・能力を身に付けさせたいのか」を明確にすることで、それぞれの取組がゴールに向かって有機的につながるよう、5つの力を設定した。

さらに、全職員でこれらの活動を取り巻く環境について共通認識を持つことで、個人ではなく、学校全体でグローバル人材の育成に取り組むとともに、教員一人一人がカリキュラム・マネジメントを意識して、不断の改善を図れるよう努めている。



主体的・対話的で深い学び

生徒の活動は、まず1年次の総合的な学習（探究）の時間を使った、地域フィールドワークから始まる。すべての生徒が、地域の方と「一緒に働く」ことを体験しながら、働く人と「直接対話する」ことで、その地域や仕事が抱えている課題を発見する。



2年次以降はSGHによる学校設定科目「グローバルエイジング（GA）Ⅰ、Ⅱ」を選択することで、

グローバル化の意義と課題についてアクティブに学ぶ。1年次に発見した課題を主に高齢者福祉の面から研究し、海外フィールドワークなども通して、高校生の視点から問題解決の方法を研究し、提言する。実現可能なものは、行政により具現化されることもある。なお、GAの授業は公民科、福祉科、英語科教員及びALTによる教科横断的な授業展開としている。



成果と普及

SGHの成果については、ポートフォリオとルーブリック、イベントへの参加状況などで測っている。ルーブリックは、5つの資質・能力各項目をさらに5つの観点に分け、生徒の変容を確認している。生徒の、「地域に具体的提言をすることができた」「アクションプランが市政に反映された」「海外の方と英語でディスカッションできた」という経験は、「自分たちが地域に役立っている」「地域と自分たちの高校がつながっている」という実感につながり、コミュニケーションが苦手だったこれまでの生活からの脱却にもつながっている。こうした本校SGHの取組により、

- 1 地域に根差すグローバルリーダー志向
- 2 自己肯定感

が生徒に育まれたことは、大きな成果と言える。

これらの成果は、引き続き本校の総合的な探究の時間に引き継ぐとともに、県教育委員会主催の学力向上交流会などを通して、県の内外に広く普及させることとしている。